

ERE information

Vol. 9 2006年2月28日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 / 電話 03) 8267 - 4819 / e-mail: info@ere.or.jp

Contents

- ▶ “政治経済研究会” (早稲田大学) 連覇! [第4回大学対抗戦]
- ▶ 第9回 ERE (経済学検定試験) 試験結果
- ▶ 各企業の採用ご担当者の皆様へ
- ▶ 委託会場制度利用のご案内
- ▶ 第5回大学対抗戦について
- ▶ 事務局からのご連絡

▶ “政治経済研究会” (早稲田大学) 連覇! [第4回大学対抗戦]

昨年12月4日(日)「第9回 ERE / ERE ミクロ・マクロ」におきまして、第4回大学対抗戦が行われました。今回の大学対抗戦は、東京大学・埼玉大学・新潟大学・大阪商業大学・慶應義塾大学・高崎経済大学・東洋大学・名古屋経済大学・早稲田大学・熊本壺溪塾学園、福岡カレッジ・オブ・ビジネスの9大学2専修学校、計16チームの経済学サークル等有志のみなさんが優勝を目指し競い合いました。

結果、総合得点1,420点、第1・3回の優勝チームでもある「政治経済研究会」(早稲田大学)のみなさんが見事優勝(ダイヤモンド賞)されました。準優勝(経済セミナー賞)は総合得点1,250点で「平成の適塾生たち」(熊本壺溪塾学園)、3位は総合得点1,230点で「農学部5類」(東京大学)のみなさんが上位の成績を収めました。

対抗戦の個人部門では、「日経賞」としてSランク者の是枝俊悟さん(早稲田大学)、塚本一太さん(新潟大学)、谷雅文さん(大阪商業大学)、瀬川文司郎さん(埼玉大学)、桐生朋文さん(東京大学)、布施翔さん(早稲田大学)の6名が、FP賞として11名、金融知力賞として5名の方々が個人賞を受賞されました。

優勝チーム、また個人賞に該当される上位成績を収められたみなさんには、表彰状と記念品(図書カード)ならびに協賛各社より副賞が贈られます。

順位	チーム名	ミクロ (得点)	マクロ (得点)	合計得点	平均点
優勝	政治経済研究会(早稲田大学)	720点	700点	1,420点	355.0点
準優勝	平成の適塾生たち(熊本壺溪塾学園)	670点	580点	1,250点	312.5点
3位	農学部5類(東京大学)	650点	580点	1,230点	307.5点

▶ 第9回 ERE（経済学検定試験）試験結果

2005年12月4日（日）第9回 ERE / ERE ミクロ・マクロを全国の試験会場において同時実施いたしました。今回の応募者は、「ERE」において265名（前回比 +53名）「ERE ミクロ・マクロ」では972名（前回比 +280名）となりました。また、全体の平均点につきましては、「ERE」が477.2点（前回比 8.7点）「ERE ミクロ・マクロ」が204.6点（前回比 4.1点）とともに前回並みの結果でした。しかし「国際経済」におきましては、前回比 14.3点と大きく異なっています。詳細は下記資料1～5のとおりです。

《資料1-1》科目別成績

『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	125.3点	119.9点	55.3点	42.3点	50.6点	41.9点	41.9点
（前回）	117.0点	122.8点	54.5点	39.7点	64.9点	38.8点	48.2点
標準偏差	38.00点	42.16点	18.58点	18.87点	20.03点	17.51点	19.26点
（前回）	42.66点	42.54点	21.71点	17.09点	18.43点	15.30点	20.49点

《資料1-2》

『ERE ミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	108.3点	96.3点
（前回）	104.9点	103.9点
標準偏差	29.77点	30.38点
（前回）	35.40点	39.10点

《資料2》成績概要

	ERE	ERE ミクロ・マクロ
応募者数	265名	972名
受験者数	188名	793名
平均点	477.2点	204.6点
標準偏差	126.72点	51.09点
最高得点	830点	400点
最低得点	230点	50点

《資料3》団体別応募状況

ERE / ERE ミクロ・マクロ			
久留米大学	73名	⑰群馬大学	18名
明海大学	58名	⑲広島経済大学	17名
高崎経済大学	57名	⑲酪農学園大学	17名
福岡カレッジ・オブ・ビジネス	54名	⑳一橋大学	16名
明治大学	53名	㉑福島大学	15名
慶應義塾大学	46名	㉒近畿大学	14名
法政大学	36名	㉓中央大学	14名
新潟大学	32名	㉔青山学院大学	12名
東洋大学	32名	㉔大阪経済大学	12名
⑩宇都宮大学	30名	㉗沖縄大学	11名
⑪立命館大学	28名	㉗京都大学	11名
⑫弘前大学	27名	㉗甲南大学	11名
⑬早稲田大学	26名	㉗和歌山大学	11名
⑭長崎県立大学	25名	⑳広島修道大学	10名
⑮東京大学	22名	㉑北海道大学	10名
⑯九州産業大学	21名	㉑麗澤大学	10名
⑰関東学院大学	18名		

《資料4》ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名（敬称略）	ランク
1	京都大学	経済学部	鈴木良章	S
2	東京大学大学院	公共政策大学院	依田翼	A+
2	上智大学	理工学部	津田浩平	A+
4	和歌山大学	経済学部	臼井隆	A+
4	熊本壺溪塾学園	大学受験科・公務員専攻科	矢住勝大	A+
6			今村光晴	A+
7	エルエヌジージャパン	企画業務部	土田毅	A+
7	早稲田大学大学院	経済学研究科	安達剛	A+
7	熊本学園大学	経済学部	林田明洋	A+
10	立教大学	経済学部	内野泰助	A+
10	立命館大学	経済学部	高島啓太	A+
12	立命館大学	経済学部	里田真規	A+
13	大阪大学	経済学部	熊代克久	A+
14	慶應義塾大学	商学部	酒本隆太	A
14	東京大学	教養学部	（非公開）	A
14	一橋大学大学院	経済学研究科	篠田薫	A
17	東京大学	経済学部	花垣貴司	A
18	東京大学大学院	公共政策学連携研究部	小田切未来	A
18	同志社大学	経済学部	松田洋祐	A
20	東北大学大学院	経済学研究科	（非公開）	A
20	早稲田大学	商学部	猪瀬素子	A
20	早稲田大学	政治経済学部	成瀬雄亮	A
20	早稲田大学大学院	公共経営研究科	熊木満喜	A
20	東京都庁	主税局	長尾俊介	A
20	経済産業省	企業統計室	青木健一	A
20	埼玉大学	経済学部	大谷昌弘	A
20	早稲田大学	政治経済学部	柴田稔	A
20	横浜国立大学	教育人間科学部	林位宜	A

《資料5》 E R E ミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	宇都宮大学	農学部	石 田 一 喜	S
2	早稲田大学	政治経済学部	是 枝 俊 悟	S
3			川 嶋 祐 介	S
3	群馬大学	社会情報学部	横 倉 直 希	S
5			鈴 木 正 人	S
5	一橋大学	法学部	藤 原 勇 平	S
5	明治大学	商学部	鴨志田 暁 弘	S
5	新潟大学	法学部	塚 元 一 太	S
5	名古屋大学	理学部	（非 公 開）	S
10	明海大学大学院	経済学研究科	薛 銘	S
10			中 島 弘 道	S
10	大阪商業大学	経済学部	谷 雅 史	S
13	福島大学	経済学部	北 澤 友 紀 子	S
13	埼玉大学	経済学部	瀬 川 文 司 郎	S
13	東京大学	農学部	桐 生 朋 文	S
13	早稲田大学	政治経済学部	布 施 翔	S
13	新潟大学	経済学部	深 浦 悠 希	S
18	法政大学	経済学部	氏 森 瑛	A+
18	武蔵大学	経済学部	田 中 健 太	A+
18			志 波 和 佳	A+
18	衆議院	加藤公一議員室	富 士 修	A+
18	みずほ情報総研	銀行システムソリューション部	長谷川 裕	A+
18	東京理科大学	経営学部	春 田 翼	A+
18	慶應義塾大学	経済学部	青 木 聡	A+
18	大和投資信託	投資調査部	松 岡 憲 輝	A+
18	京都大学	経済学部	金 原 大 植	A+
18	関西学院大学	経済学部	今 井 啓 太	A+
18	立命館大学	経済学部	日 野 景 介	A+

各企業の採用ご担当者の皆様へ

EREスコア利用のご案内

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。

最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えています。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

特徴

本試験の結果は合格ではなく、SランクからEランクまでの7ランクで評価され、受験回数に制限がないことより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の目標とし、多くの大学生等が利用しております。

出題科目等

〔ERE〕四答択一式・100問・180分

ミクロ経済学：25問 / マクロ経済学：25問 / 財政学：10問 / 金融論：10問 /
国際経済：10問 / 統計学：10問 / 時事経済：10問 計100問・1000点満点

〔EREミクロ・マクロ〕四答択一式・50問・90分

ミクロ経済学：25問 / マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

活用例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学における、カリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院の入学試験の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・一般社員の自己啓発等の成果の検証として

備考

現在、経済学検定試験は、7月・12月の年2回、全国18の試験会場において実施しており、年間約2,000名の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の会社員となっています。

《お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL：03-3267-4819 / e-mail:info@ere.or.jp

▶ 委託会場制度利用のご案内

現在、全国に18の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、**委託会場**として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体の大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見ている制度です。どうぞご利用ください。

委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。

受験申込者数が2種目（E R E / E R E ミクロ・マクロ）の計で10名以上であること。

試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。

その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

試験実施までの流れ

試験前に行っていただくこと

到着資材の確認

試験問題等重要資材の保管

試験当日

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

試験終了後

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同一の手続により採点し、成績結果を通知します。

実施手数料のお支払

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、**委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）**をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「**委託会場設置届出書**」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

検定試験運営センター

〒162 - 8464 東京都新宿区市谷本村町3 - 21

Tel : 03 - 3267 - 4821 Fax : 03 - 3267 - 4999 e-mail:info@ere.or.jp

▶ 第5回大学対抗戦について

第5回大学対抗戦の実施に向けて、より広く全国大学サークルの参加を募ります。

《参加資格》

原則、大学・大学院（専門学校可）に所属する学生を主体とするゼミ・サークル等の団体で、1チームのエントリーは5名以上9名以内とします。

《対戦方法》

『ERE/EREミクロ・マクロ』のミクロ経済学・マクロ経済学の2科目の成績で判定します。『ERE』（7科目）で受験・参加する場合は、7科目内の「ミクロ経済学・マクロ経済学」の2科目の得点を抽出して判定します。判定方法は、5名から9名の成績のうち、上位4名までの総合点で判定を行います。

《表彰等》

【優勝チーム】

賞状と記念品（受験者全員に図書カード）を授与します。また、ダイヤモンド賞（副賞）として、ダイヤモンド社より『週刊ダイヤモンド』が優勝チームの受験者全員に半年間贈呈されます。

【準優勝チーム】

経済セミナー賞として日本評論社より、『経済セミナー』が準優勝チームの受験者全員に半年間贈呈されます。

第4回大学対抗戦

優勝 「政治経済攻究会」(早稲田大学)

二連覇を成し遂げられて努力の甲斐がありました。参加チーム数が多くなれば多くなるほど盛り上がるので多数のチームの参加を期待しています。次回はディフェンディング・チャンピオンとしてみなさんのチャレンジを待っています。試験の参考書としては、ミクロはハル・ヴァリアン「入門ミクロ経済学」、マクロは中谷巖「入門マクロ経済学」を勉強しました。これをきっちりこなしていましたので、今回はかなり多くの問題が解けたと思います。そして何より、過去問を1回分通して徹底的に解くことがもっとも重要だと思います

個人賞 大谷 昌弘さん「ジュニア会計士同好会」(埼玉大学)

サークルのみんなで頑張ってきたので、良い成績が収められてとてもうれしく思っています。いつもただ勉強しているだけでは、成果がなかなかはっきりと判らないので、EREは良い機会であり目標となります。試験問題はレベルの高い問題も出題されるので、今後も過去問や参考書をこなしてレベルアップし、機会あることに参加していきたいと思っています。よく使った参考書は、EREの過去問、スーパー過去問ゼミ等公務員の問題集です。公務員用のテキストは、簡単な解法が載っているので、問題を解くという点では便利です。参考書としては、中谷巖「入門マクロ経済学」くらいだと思います。そんなにいろいろ出来ないで同じものを繰り返しやりました。

【個人賞】

『ERE』『EREミクロ・マクロ』のSランク取得者には、日経賞として、日本経済新聞社より『「日本経済新聞」購読券(6ヵ月分)』と『やさしい日経経済用語辞典』が贈呈されます。

また、個人成績上位10名までの方に、ファイナンシャル・プランナーズ賞として、NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会より『FPジャーナル』を半年間贈呈されます。さらに上位5名までの方には、あわせて金融知力賞としてNPO法人金融知力普及協会より、初級通信講座『グランド・ステージ』の受講票が贈呈されます。

第5回 大学対抗戦

第10回 ERE/EREミクロ・マクロ 2006年7月2日(日)において実施

受付期間 2006年4月17日(月)~5月19日(金) <消印有効>

詳しくは協会のホームページをご覧ください。

<http://www.ere.or.jp/taikousen/taikousen.pdf>

▶事務局からのご連絡

第10回 ERE (経済学検定試験) 実施要綱

『ERE』実施要綱

実施回	第10回
試験日	2006年7月2日(日)
試験時間	午後1時00分~午後4時00分(180分)
受付期間	2006年4月17日(月)~2006年5月19日(金) 消印有効
受験料	5,250円(税込)
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学/時事経済
出題形式	4択一式/100問,1問10点,1,000点満点
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)

『EREミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第10回
試験日	2006年7月2日(日)
試験時間	午後1時00分~午後2時30分(90分)
受付期間	2006年4月17日(月)~2006年5月19日(金) 消印有効
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学(注)
受験料	3,150円(税込)
出題形式	4択一式/50問,1問10点,500点満点
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)

(注) 『ERE』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。